

ふれあい

発行 社会福祉法人 北海道宏栄社



「積丹半島神威岬のたこ岩の朝日」
画：吉田きっこ

もくじ

- | | | | |
|------------|------|-------------------------|-----|
| ● 理事長挨拶 | 2頁 | ● 研修会 | 8頁 |
| ● 利用者トピックス | 2～3頁 | ● そばボランティア夕食会 | 9頁 |
| ● 想いDEフォト | 4～5頁 | ● 助成金／ご寄贈 | 10頁 |
| ● 自治会旅行 | 6～7頁 | ● 地域交流／新利用者・職員紹介／編集後記 | 11頁 |
| | | ● 施設のご案内／施設の利用状況／宏栄社の略図 | 12頁 |

理事長挨拶

理事長 よし むら かつ ゆき
吉 村 克 之



新年あけましておめでとうございます。関係各位には、日頃から当福祉法人に対して多大なるお力添えを賜り、心から厚くお礼を申し上げます。昨年日本経済は、なんと言っても消費税増税により景気の動向が注目されました。増税に伴う駆け込み需要はあったものの、アベノミクスによる円安で輸入原材料などが値上がりしたことに伴い、家計や中小企業を直撃し、賃金の伸びが物価上昇に追いついていない現状であります。このような状況を改善すべく10%の消費税増税を先送りすることで、12月に解散総選挙を行うといったあわただしい年末でありました。

当福祉法人においても、こうした厳しい環境の中で、事業計画に沿って法人運営の改善を図りました。まず、個人宅への集配・配送業務の廃止、桂岡ラルズ店の取次店の廃止などホームクリーニングから撤退し、ホテルリネン・基準寝具への集約を行いました。また、昨年4月からキャリアパスフレームに基づく段階号俸表と人事考課制度を導入し、職員の士気・意識改革に大きく反映させたと考えております。そのほかでは、一昨年から立ち上げた虐待防止委員会を隔月で開催し、虐待防止に向けての対策に取り組んでおります。

さらに、近年社会福祉法人が求められている地域社会とのかかわりでは、災害時に障がい者を受け入れる避難場所の提供や虐待にあった障がい者のシェルターとして小樽市と協定を結んでいるほか、札幌保護観察所と連携し、社会貢献活動の受け入れ事業所、雇用主会の会員になるなど、触法者の更生活動にもできる限り協力しているところであります。新たな都市を迎え、これからもより一層利用者の皆さんにとって明るく希望の持てる環境づくりに職員が一丸となって取り組んでいくつもりであります。

岡田真信さんが(株)キコロアソシエイツに就職しました

平成26年8月16日よりキコロリゾートを経営する「株式会社キコロアソシエイツ」に採用が決まりました。

岡田さん仕事体験談

いま、キコロリゾートのホテルの厨房で食器洗いや魚を焼いたりする調理の手伝いをしています。仕事は忙しくて失敗もするけれど、一生懸命頑張っています。

仕事でわからないことは職場の先輩に教えてもらい、色々支えてもらいながら仕事をしています。今回、ホテル関係の仕事はずっと前から希望していた仕事だったので就職できて嬉しいです。これからも長く働き続けることができるように頑張っていきたいです。

～岡田さんより利用者の皆さんへ～

「キコロで仕事を精一杯やっています。みなさんも頑張ってください。」



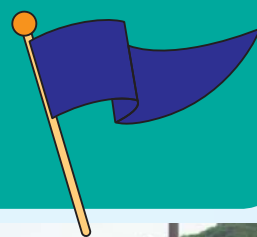
キコロリゾート スキー場

長谷川さん室井さん第14回全国障がい者スポーツ大会フライングディスク競技で銀メダル獲得!!

長谷川雅紀さんと室井勝二さんが北海道障がい者フライングディスク大会で好成績を残し、平成26年10月31日（金）～11月4日（火）に長崎県にて開催された全国障がい者スポーツ大会に出場しました。



10月30日（木）に札幌のホテルガーデンパレスにて選手と引率スタッフ約80名が集まり、結団式が行われました。長谷川さんが旗手に選ばれ、北海道選手団団長の相馬秋夫さんより、団旗が渡されました。



Fight!!



～北海道選手団スタッフとして引率した天山支援員からひとこと～

宿舎での食事や競技場での練習などの際に道内から参加した参加者、他都道府県の皆さんと談笑したりお互いに競技のアドバイスをしあったりして交流することができ、とても思い出深い長崎がんばらんば大会になったと思います。

また、四泊五日という期間を一緒に過ごして、お二人の新たな一面も知ることが出来て引率した職員としても思い出に残りました。長谷川さん、室井さん、お疲れ様でした！

全国大会の結果

氏名	競技	種目	順位	記録
長谷川雅紀	フライングディスク	アキュラシー	銀メダル	8本
〃	〃	ディスタンス	4位	30.76m
室井 勝二	〃	アキュラシー	8位	3本
〃	〃	ディスタンス	7位	20.31m

(紙面担当/佐藤宏昭)

想いDEフォト

昨年も多くの利用者が施設行事・スポーツ大会に参加しましたので、ご紹介します。

秋祭り ～9月13日開催～



今年の秋祭りにはスペシャルゲストとして「小樽プラスファイブ」の皆様にお越しいただきました。

「小樽プラスファイブ」は小樽ウインドアンサンブルという地元の社会人で構成する吹奏楽団の指揮者である佐藤誠一様が、金管五重奏のアンサンブル活動の活性化を目指し、2004年にメンバーを集め結成されました。活動内容は、病院や幼稚園から依頼された演奏会や福祉施設、地域でのお祭り、クリスマスコンサートなど、様々な場で演奏活動をされています。



北海道障害者スポーツ大会（函館市） ～9月7日開催～



北海道障害者フライングディスク大会（札幌市） ～10月12日開催～



北海道障害者ボウリング大会（小樽市） ～10月19日開催～



北海道障害者卓球大会（札幌市） ～11月9日開催～



平成26年度 自治会旅行

思い出

平成26年6月21日（土）から2日間、自治会で旅行に行きました！！

2日間とも天候に恵まれ、おいしい食事も食べたりととても楽しい思い出になりました！



千年の森

1日目は、十勝にある『千年の森』に行き、散策と名物の豚丼弁当を食べました！



柳 月

三方六で有名な『柳月』に行きました！製造工場を見学したり、お土産を買いました！



サホロリゾート

皆さんで夕食を食べて、カラオケも楽しみました！





ベアウォッチング



2日目は十勝にある『ベアマウンテン』でバスに乗りながら熊を見ました！



(紙面担当/打矢直美)

虐待防止研修

10月23日（木）と24日（金）の両日にわたって虐待防止研修会が開催されました。

今回の研修会は、特定非営利活動法人しりべし圏域総合支援センター主催の研修会に参加した岡音係長と小槌係長が講師となって、総勢52名の職員に研修内容を発表しました。

研修では、利用者さんの障がい特性に合わせた支援がわからず、それがストレスになって虐待になってしまうことや、しつけや体罰、虐待の境界線があいまいなため、家庭では、しつけと称して虐待にいたるなど、気をつけなければならない多くの事を学ぶことができ、参加した全職員が虐待防止の重要性を改めて確認することができました。



発達障がい研修

11月15日（土）に『地域支援センターゆう』の中村明美氏を講師にお招きして『発達障がい者と就労支援』について学びました。

当日は、土曜日の終業後にもかかわらず、総勢40名の職員・パート・利用者さんが参加しました。

研修では、発達障がいのある利用者さんに対して、「できない」と簡単にあきらめるのではなく、ことば以外の様々なアプローチの仕方を考え実行していく事で、今まで「できなかった」ことが「できる」ようになる、そんな可能性が広がるということを学ぶ事ができました。



歯の研修 ～あなたの歯は大丈夫ですか？～

11月26日（水）に歯の研修を行い、16名の利用者さんが参加しました。

『おきつ歯科医院 井坂一真先生』を講師に招き、正しいブラッシングの仕方を教えてもらいました。

始めに歯垢（プラーク）について勉強した後、参加した皆さんが歯に赤色の歯垢染色剤をつけて実際にブラッシングをしました。

みなさんそれぞれに磨き癖があり、歯と歯茎の間や歯と歯の隙間などに歯垢が残っていましたが、先生のブラッシングの指導により、とてもきれいな歯になり大満足でした。



そばボランティア夕食会

毎年恒例となりました『そばボランティア夕食会』。今回は小樽蕎麦商組合青年部6名の方にお越しいただき、美味しい蕎麦うどんが振る舞われました。

お品書き

○冷たい蕎麦・うどん

ほっけのつみれとキノコせいろ



冷たい蕎麦

○温かい蕎麦・うどん

ほっけのつみれときこのあんかけ



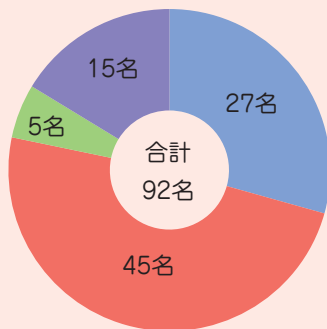
温かい蕎麦



メニューを考えるにあたって、小樽市の漁獲量1位であるほっけをメインの食材として用いたものにしたというお話を小樽蕎麦商組合青年部部長宮下さんから聞きました。その結果、ほっけのすり身と秋の味覚であるきのこ、これらをあんかけ風にした創作メニューに決定したそうです。



メニューアンケート



- 冷たい蕎麦
- 温かい蕎麦
- 冷たいうどん
- 温かいうどん

※温かい蕎麦が人気!?



自然と出ている笑みと『美味しい』という言葉、そして食べ終わった後に青年部の皆さんに『ごちそうさまでした!』と、元気に挨拶をしていました。

小樽蕎麦商組合青年部の皆様、本当にありがとうございました。



ご協力いただいたお店の紹介

- ・蕎麦処 伊佐美屋
- ・信州屋 支店
- ・蕎麦処 やま安
- ・両国 塩谷店
- ・信州屋 本店
- ・蕎麦 両国分店
- ・名代生蕎麦 一福
- ・小樽蕎麦屋 藪半
- ・蕎麦切 いつき



中央競馬馬主社会福祉財団様より、 福祉ホームのボイラー交換工事費を助成していただきました

福祉ホームのボイラーは、12年間使用し年々修理経費が増加しておりました。幸い冬季の夜に故障で利用者さんにご迷惑をかけたことはなかったのですが、今後そういった状況が起こらないように早めの対応を考え、助成金を申請したところ、中央競馬馬主社会福祉財団様にボイラー交換工事に係る費用を助成していただきました。

当法人を利用している方々が安心して生活ができる環境づくりを手助けしていただきまして、本当にありがとうございます。

事業名 福祉ホーム温水ボイラー更新工事

総事業費 2,408,400円 助成額 1,000,000円

ありがとうございます。
ございます。



車椅子を寄贈していただきました

9月22日（月）、小樽市立天神小学校児童会の皆さんが収集したリングプルで交換した車椅子を寄贈していただきました。天神小学校の朝礼で贈呈式があり、車椅子のお礼に当法人の理事長から感謝状をお渡ししました。

平成14年に当時の6年生が福祉について学んだことでリングプルの収集がはじまり、それ以来その活動が続いているので、平成20年に車椅子を寄贈していただいております。

今回寄贈していただいた車椅子も大切に使用させていただきます。天神小学校児童会の皆様ありがとうございました。



昨年寄付をいただいた方々をご紹介します 本当にありがとうございました

小樽蕎麦商組合青年部様	夕食におそばを提供
日本中国料理協会小樽支部様	シューマイ 120個
コカ・コーラボトリング様	ジュース 168本
株式会社かま栄様	やきちくわ 120本
天神小学校様	車椅子 1台



コカ・コーラ小樽事業所長の和田様（左）と
かま栄社自治会役員（右）

職場体験実習を受け入れました

9月3日（水）菁園中学校の特別支援学級の生徒さん7名が当法人（クリーニング事業）の職場実習を体験しました。実習時間は午前10時からお昼休憩を挟んで午後3時まででした。作業内容は、ホテル関係のタオル、ローブの捌き、ピロ及び浴衣伸ばし、ハンガー掛け、病院寝具関係のタオルたたみ作業等でした。各担当者の評価も高く、「一度説明しただけですんなり理解してもらえた」「乾燥機の出し入れがとても早かった」等の感想が出ていました。

先生からも生徒さん達にとって良い勉強になったと評価いただきました。



新利用者の紹介

ふくなが やすひろ
福永 泰弘さん



趣味：音楽を聴くこと。

コメント

2階リネンさばきの所属で仕事をしています。忙しい日々を過ごしています。よろしくね！

いがらし ますみ
五十嵐 万寿美さん



趣味：カラオケ・ドライブ

コメント

12月から宏栄社に入りました、五十嵐です。自分なりのペースで頑張りますので、皆さんよろしくをお願いします。



（自画像）

★表紙の絵について★

吉田きっこ

昭和52年から小樽市花園でスナック「倅（したしみ）」経営の傍ら、新本海フェリー（株）のフェリーターミナル内ギャラリーで個展を開催するなど現在も精力的に創作活動を展開中。

新入職員の紹介

かじや さとし
梶谷 怜史 26歳



趣味：野球（キャッチャー）好きな食べ物：酢豚

コメント

8月に入社しました、梶谷です。老人ホームで約7年間勤務していました。

仕事に慣れるまでご迷惑をお掛けする事もあると思いますが、精一杯頑張りますので宜しくお願いします。

編集後記

明けましておめでとうございます。編集スタッフ一同、心から新年のお祝いを申し上げます。ひつじ年の新年号である広報（第22号）も皆様のご協力を得まして、満足の行く誌面で発行することができました。

さて、小樽では2月6日（金）から「第17回小樽雪あかりの路」が開催されます。平成11年に市民有志により始まり、雪とキャンドルの灯火が古い町並みを優しく照らす幻想的なイベントで、近年は50万人前後の来場者を迎えています。その雰囲気や法人の活動と共に誌面でご紹介できるよう私たち編集委員も新たな気持ちで取り組んでいます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

（紙面担当／高田栄一郎、佐藤宏昭）

各施設のご案内



社会福祉法人
〒047-0011

北海道宏栄社

小樽市天神2丁目8番2号

電話代表 ☎ 0134-25-1551 FAX 0134-29-3284

営業直通 ☎ 0134-31-5625 FAX 0134-33-3178

ホームページ <http://www.koueisyu.or.jp/> メールアドレス selp@koueisyu.or.jp

(営業時間) ■平日■ 8:40~17:00 ■土曜■ 8:40~14:50 ■日曜■ 定休日

障害者支援施設 北海道宏栄社 (定員54名)

障がいのある方に、施設入所支援を提供しながら、日中活動の場として生活介護事業(生産型)を提供する施設です。

●施設入所支援事業(定員54名)

快適な寮生活を提供します。施設内はバリアフリーで居室はすべて個室です。入浴や食事も提供します。

●生活介護事業(定員54名)

日中活動の場として、軽作業等の生産活動の機会を提供します。希望に応じて食事の提供も可能です。

●就労継続支援B型事業(定員15名)

一般就労が困難な方に、雇用契約は結ばず、自分の希望や体調に合わせた就労支援を提供するサービスです。

☎ 0134-25-1551

障害福祉サービス事業 宏栄セルブ (定員60名)

障がいのある方に、自宅などから通っていただき、就労に向けてのサービスを提供する施設です。

●就労移行支援事業(定員10名)

一般の会社に就労を希望する方が、おおよそ2年間、施設内での作業訓練や事業所での実習を行うサービスです。

●就労継続支援A型事業(定員10名)

障がいが理由で一般就労が困難な65歳未満の方に、施設との雇用契約に基づく就労支援を提供するサービスです。

●就労継続支援B型事業(定員40名)

一般就労が困難な方に、雇用契約は結ばず、自分の希望や体調に合わせた就労支援を提供するサービスです。

☎ 0134-25-1551

相談支援事業所 あおば

在宅の障がいのある方の生活上の困りごとや障がいについての質問、福祉サービスの利用について相談を受ける事業所です。

●一般相談支援事業 ●特定相談支援事業 ●障害児相談支援事業

☎ 0134-27-4722

FAX 0134-33-1131

福祉ホーム

宏栄社福祉ホーム

(居室数14室・定員20名)

障がいのある方に、バリアフリー対応の居室を提供します。単身用と夫婦用の居室があります。

☎ 0134-24-7551

宏栄社の所在地



施設の利用状況

(平成26年1月1日現在)

区分	定員	利用者数			
		男性	女性	合計	
北海道 宏栄社 (入所)	施設入所支援	54	38	10	48
	日中活動	54	32	8	40
	生活介護 就労継続支援 B型	15	6	2	8
宏栄 セルブ (通所)	就労移行支援	10	6	3	9
	就労継続支援 A型	10	5	1	6
	就労継続支援 B型	40	33	12	45

区分	居室数	利用中	空室	
		宏栄社 福祉ホーム	8室(8名)	8室
	夫婦用居室	6室(12名)	6室	0室

※各施設をご利用希望の方は、お問い合わせください。